

事務事業名	UIターン介護人材確保事業	所属部	政策企画部	所属課	うんなん暮らし推進課
政策名	(I)みんなで築くまち《協働・行政経営》	所属G	定住・公共交通G	課長名	高田 浩二
施策名	(02)移住・定住の推進	担当者名	野々村 一彦	電話番号	0854-40-1014 (内線) 2323
目的	対 象 市外の人・市民 意 図 雲南市に移住・定住してもらう。	予算科目	会計 款 大事業 大事業名 0 1 1 0 0 3 項 目 中事業 中事業名 0 5 6 5 7 5	定住対策促進事業 UIターン人材確保事業交付金	
基本事業名	(007)移住・定住に関する環境整備				
目的	対 象 市外の人・市民 意 図 良好な環境で暮らす。				

1 現状把握 [DO]

(1) 事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (年度 ~)
<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (H28 年度 ~ R1 年度)
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
雲南市に移住定住する意思があり、市内の介護サービス事業所に就労しようとする者に対し、助成金を交付する。 助成については、(公財)ふるさと島根定住財団のUIターンしまね産業体験事業助成金【産業体験事業助成金120千円/月(実家へUターンする場合60千円/月)、産業体験受入先助成金30千円/月、親子連れ助成金30千円/月、介護職員初任者研修養成講座受講費(実費 ※上限78千円)】を活用し、雲南市からは上乗せ助成20千円/月と家賃補助(補助率1/2、上限20千円)を行う。事業所は、雇用者へ月額150千円以上の給与と転居費等の一時金300千円、体験終了時の一時金500千円(ボーナス相当程度)を負担する。

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動					
	R元年度実績(R元年度に行った主な活動) ・事業者募集(受入事業者3者) ・体験者募集(面談実施者0名、就労体験実施者1名) ※就労体験実施者は前年度からの継続	R2年度計画(R2年度に計画する主な活動) 制度廃止 ※ただし、(公財)ふるさと島根定住財団のUIターンしまね産業体験事業助成金は継続				
	② 活動指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R元年度(実績)	R2年度(計画)
ア	体験開始者数	人	1	2	0	
イ						
ウ						
エ						

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R元年度(実績)	R2年度(計画)
	県外に住む満18歳から概ね40歳までの者	ア 体験開始者数	人	1	2	0	
	イ						
	ウ						
	② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R元年度(実績)	R2年度(計画)
	雲南市へ定住してもらい介護職員として働いてもらう。	ア 移住・定住者数	人	1	2	0	
		イ					
		ウ					

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (1年度決算)	② コストの推移	単位	H29年度(決算)	H30年度(決算)	R元年度(決算)	R2年度(計画)
【その他財源】 (公財)ふるさと島根定住財団 UIターンしまね産業体験事業助成金 1,080千円 総務費寄附金 360千円 【事業内容】 家賃補助 市町村上乗せ助成 産業体験研修費 産業体験受入先助成	財源内訳	国庫支出金	千円			
		県支出金	千円			
		地方債	千円			
		その他	千円	600	840	1,440
		一般財源	千円	150	530	
	事業費計 (A)	千円	750	1,370	1,440	
人件費		正規職員従事人数	人	1	2	2
		延べ業務時間	時間	100	200	200
		人件費計 (B)	千円	408	866	848
	トータルコスト(A)+(B)	千円	1,158	2,236	2,288	

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
不足する介護職において、定住プランをパッケージ化することで移住・定住希望者にPRし、介護人材の確保と定住人口の増加を図る。	関係部局(長寿障がい福祉課・雲南広域連合)や介護事業者との意見交換を行いながら事業の改善を図っている。	不足する介護職の人材確保の一つの手段として、事業の継続を望まれている。

事務事業名	UIターン介護人材確保事業	所属部	政策企画部	所属課	うんなん暮らし推進課
-------	---------------	-----	-------	-----	------------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性	この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があると理由
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	* 余地がある場合	
	② 公共関与の妥当性	なぜこの事業を市が行わなければならないのか？ 税金を投入して達成する目的か？		
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	* 余地がある場合		
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	* 余地がある場合		
B 有効性	④ 成果の向上余地	成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？		
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	職場と住まい、保育所又は学校のパッケージ化を具体的にすることで、効果的な情報発信を図る。	
	<input type="checkbox"/> 向上余地がない			
⑤ 廃止・休止の成果への影響	この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？			
<input type="checkbox"/> 影響無	理由	不足する介護職の人材確保の一つの手段として、事業の継続を望まれており、効果的な人材確保の手段が失われる。		
<input checked="" type="checkbox"/> 影響有				
⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？			
<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある	* ある場合	(具体的な手段や類似事業名)	(公財)ふるさと島根定住財団のUIターンしまね産業体験事業助成金	
<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない	理由		
<input type="checkbox"/> 他に手段がない				
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地	成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	理由	県の産業体験事業を活用しており、市の上乗せ部分を廃止することで削減余地がある。	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がない			
⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？			
<input type="checkbox"/> 削減余地がある	理由	最低限の人数で対応している。		
<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない				
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	事業内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	理由	広く募集の呼びかけを行っている。	
<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である				
評価の 総括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)	
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	仕事をベースにした移住定住のパッケージ化により、効果的な情報発信を行う必要がある。	
B 有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり			
C 効率性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり			
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり			

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																		
<input checked="" type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持		×	低下	×	×
		コスト																	
	削減	維持	増加																
成果	向上																		
	維持		×																
	低下	×	×																
(公財)ふるさと島根定住財団のUIターンしまね産業体験事業助成金は今後も継続するため、市の上乗せ部分については廃止する。	<p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																		